

学校だより 9月号

TEL 048 (548) 1004

FAX 048 (547) 1467

平成 30 年 8 月 29 日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

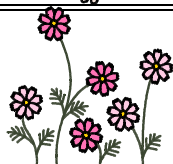
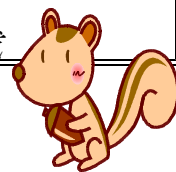
URL

<http://koya-e.konosu.ed.jp>

e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp



【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成



信じぬく気持ち、諦めない心は奇跡を起こす ～100回大会を迎えた高校野球から学んだこと～

校長 池澤 道弘

夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。39日間の長い休みの中で、112名の小谷っ子が学校ではできない様々な体験をしてきたことと思います。2学期はそれぞれの体験を糧にして、一回りも二回りも成長していってくれることを期待しています。

さて、夏といえば毎年多くの感動を与えてくれるのが高校野球です。私自身は、渡辺前校長先生のように高校球児ではありませんでしたが、高3の時に、母校が全く予想していなかった甲子園出場を果たしたため、夜行バスに乗って甲子園まで行き、アルプススタンドで校歌を歌うという経験ができました。今年は100回大会という節目の年。史上最多の56校の代表校が熱戦を繰り広げました。去年は、花咲徳栄高校が埼玉県勢として初の全国優勝を果たし、多くの埼玉県民を感動の渦に巻き込んだことは記憶に新しいですが、今年もそれに負けずとも劣らない、奇跡に近いドラマがありました。

まずは、愛媛代表済美高校。2回戦の星稜高校との試合は、延長12回でも決着がつかず、今大会から採用されたタイブレークへ。13回に星稜高校に2点を奪われながらも、逆転満塁サヨナラホームランという劇的な展開。正に筋書きのないドラマとなりました。次に、秋田代表金足農業高校。今大会の数少ない公立高校の一つでありながらも、エース吉田投手の力投で3回戦へ。花咲徳栄高校を破った横浜高校との試合は、多くの方が横浜有利と思ったのではないのでしょうか。6番高橋選手の逆転ホームランには思わず声が出てしまいました。更に近江高校との準々決勝。9回裏の逆転サヨナラツーランスクイズには、胸が震えました。残念ながら優勝は叶いませんでしたが、公立高校の快進撃は平成19年、第89回大会の佐賀北高校を彷彿させ、秋田県のみならず、全国の球児の希望となった素晴らしい活躍でした。

こうした大きな感動を呼ぶ原動力は、自分も仲間も信じぬく気持ちそして、最後まで諦めない心だと思います。もちろん、その前提には辛く苦しい練習に耐え、白球を追い続けてきた日々があったことは言うまでもありません。舞台は違えど、小谷っ子も、自分の目指す目標に向かって、最後まで諦めず自分を信じて精いっぱい努力し、大きな感動を得る2学期にしていってほしいと思います。保護者の皆様、地域の皆様には、引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。



学校いじめ防止基本方針の改定について

鴻巣市いじめ防止等のための基本的な方針が改定されたことに伴い、本校でもいじめ防止基本方針を見直し、この度改定いたしました。ホームページの「お知らせ」にアップしましたので、ご覧ください。（9月中には「メニュー」の中の「学校いじめ防止基本方針」を差し替える予定です）今後も、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に努めてまいりますので、引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。

地域の皆様へ

鴻巣市教育委員会

鴻巣市立小・中学校への留守番電話の導入について

教職員の業務負担軽減の取組の一環として、本市におきましても9月3日より、各小・中学校に「留守番電話」を導入することといたしました。

つきましては、教職員の勤務時間外は、原則として留守番電話による対応となりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、小谷小学校の教職員の勤務時間は、午前8時15分から午後4時45分までです。